

令和6年(2024年)3月実施

公立高等学校入学者選抜状況報告書

北海道教育庁学校教育局学力向上推進課

目 次

出願者の概要	1
§ 1 出願者の状況	2
§ 2 学力検査（本検査）結果の概要	7
§ 3 学校別受検者数及び合格者数	9
§ 4 学力検査問題の分析（正答率・分析等）	23
§ 5 学力検査問題等研究協議会における主な意見	38

はじめに

本報告書は、令和6年3月に実施した北海道公立高等学校入学者選抜の実施状況をまとめたものです。

この入学者選抜実施に当たっては、中学校、高等学校及び関係機関各位の御理解と御協力により、入学者選抜事務が適正かつ円滑に進められ、無事に終了したことに心から感謝申し上げます。

北海道教育委員会では、推薦入学者選抜において、道外からの入学者の受入れを拡大したほか、自己推薦を導入するなど、これまで様々な改善を進めております。令和6年度入学者選抜においては、推薦入試で道外からの入学者を受け入れる公立高等学校数は36校に増加しており、自己推薦の受検者数は7,531人に増加し、これは自己推薦の開始前の令和4年度と比べると2倍近い数になります。

令和7年度入学者選抜については、各公立高等学校の入学者選抜における学校裁量の事項の状況を取りまとめ、北海道教育委員会のウェブページに掲載するなどして、広く道民の皆様にもお知らせしたところです。また、本年度実施する公立高等学校の入学者選抜において、入学願書記入等の出願手続を電子化することとしており、受検者の願書記入の負担軽減や、中学校・高等学校における事務処理の効率化などにつなげたいと考えております。

本報告書では、出願者の状況、学力検査結果の概要、学校別の合格者数などに加え、国語、数学、社会、理科、英語の学力検査問題の分析を行い、教科ごとに義務教育段階の学力調査等の傾向や課題を踏まえた特徴的な問題を掲載するとともに、今後の授業の在り方に係る授業実践例を紹介しております。

また、本年11月に公表予定である「令和6年度全国学力・学習状況調査北海道版結果報告書」において、本報告書の分析を踏まえた、小学校から高等学校までの12年間をとおした授業改善の方向性を示すこととしております。

本報告書が、各学校において活用され、本道の小・中・高の連続性を意識した学力向上の取組が、より一層推進されることを期待しております。

令和6年7月

北海道教育庁学校教育局学力向上推進課長

小 西 晃